研究の背景

―残された時間の中で命が輝く環境とはどんな空間であるだろうか。―

命に関わる病気の子供は、日本に約14万人以上いる。
そのうち、医療的ケアを必要としながら在宅で生活している子供は全国で約２万人とされている。
在宅で治療をしている余命を宣告された難病の子どもとその家族を支える仕組みはない。
そのため、第二の家となるようなこどもホスピスが必要であると考える。
しかしながら、日本には大阪府と神奈川県のわずか2か所にしかないのが現状である。
広島県福山市田尻町に難病を抱える子どもとその家族に求められているこどもホスピスを計画することを目的とする。

敷地について

計画敷地は、瀬戸内海沿岸に面し、広島県福山市中心部と鞆の浦の中間に位置する田尻町西中とする。
田尻町には、3000本を超えるあんずの木があり、3月にはあんずの花や菜の花が咲き、あんずの季節にはあんず船に乗って田尻沖から花咲く丘の景色を堪能することができる。
田尻町の海岸では、3月と9月に蜃気楼現象によるダルマ朝日を見ることができる。
周囲に島（走島・仙酔島・真鍋島・大飛島・白石島）があるため島の観光にもアクセスが良い。
さらに、計画敷地周辺は、里山散策コース・トレッキングコース・サイクリングコースがあり、自然豊かな小道を満喫することができる。

こどもホスピスとは？

難病の子どもが本来享受すべき、
その子が自分らしく生きるための施設

■ 子どもやまだ成人に達していない若者が直面している情緒的、身体的な深刻な状況を援助する。

■ その家族にレスパイト（ケアする人に休息を与えるケア）を提供する。

求められるこどもホスピスの空間

家族で過ごせるお家としての機能

難病の子どもが安心して遊ぶことができる空間

子どもたちが第二の家として家に帰る、次の日またドアを開けて遊びに出かけるという当たり前な日常の動線を実現させることのできる空間を目指す。

空間構成の考え方

木をイメージして配置を行う。
木の支えとなっている幹から成長し、枝をつけ葉をつけていく。
建物で表すとみんなが集う共有空間の幹から個々の居室を葉のようにつけていく。

葉：居室

枝：共有空間と居室を繋ぐ廊下階段、スロープ等や

幹：中心に共有スペース

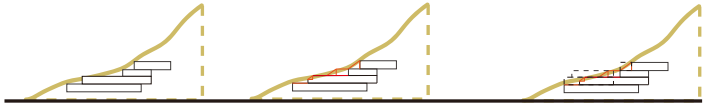
ダイアグラム

皆が集う共有空間の幹となる部分を中心に配置し、枝のように廊下や階段、スロープを設置する。
そして、個々の居室を地形に沿って葉のようにつけていくことで田尻町の海が見える眺望を生かした計画を行う。

中心共有空間　→　廊下や階段スロープ等　→　地形に沿って居室

共有空間における建築の構成

傾斜に沿って階段上に階を重ねていく。 → 彩光を取るために傾斜に沿って開口部を設ける。 → 必要な部分の空間を付け加えていく。
2F の場合：浴室はプライバシーを守り、海の景色を堪能できるようにするため。



パノラマの住家

～福山市田尻町こどもホスピス計画～

鶴村愛水

屋外空間

A-A´断面図 0 1 2 3 4 5M

交流空間
民間型ホスピスである利点を生かし、地域の方々と気兼ねなく交流が図れるように計画した。

土間空間

吹き抜け

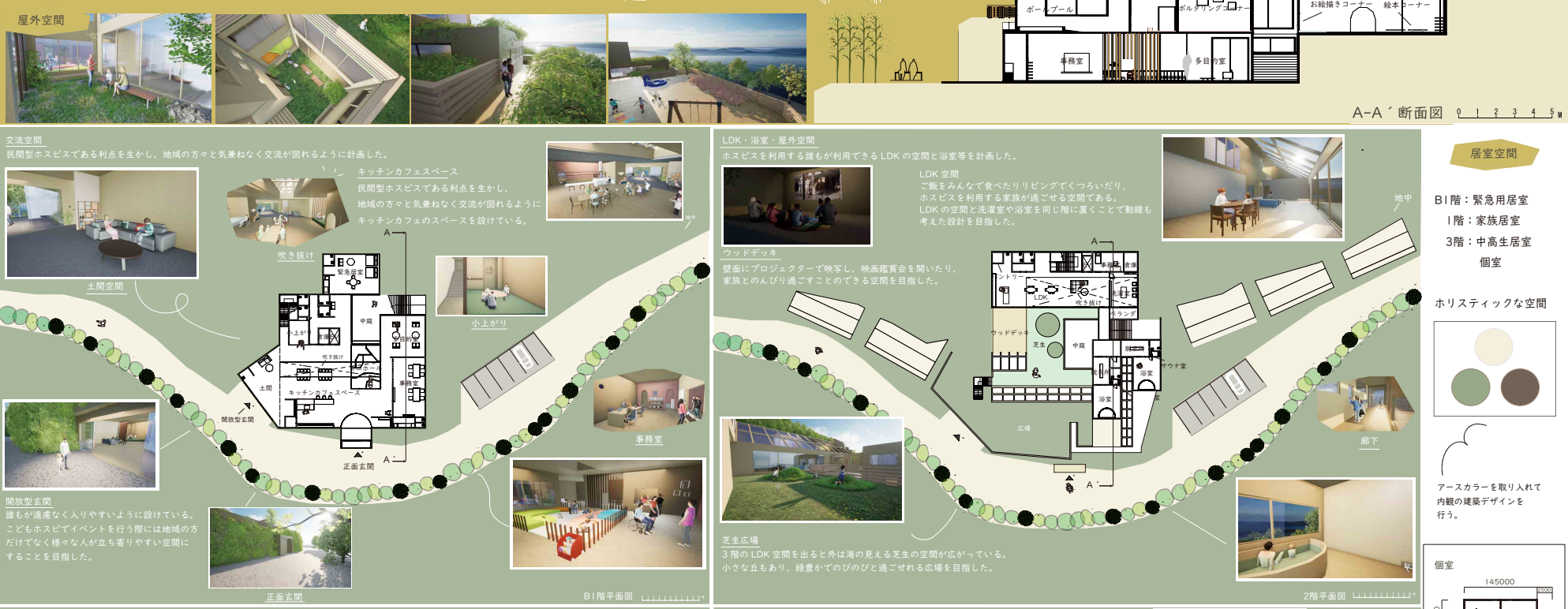
キッチンカフェスペース
民間型ホスピスである利点を生かし、
地域の方々と気兼ねなく交流が図れるように
キッチンカフェのスペースを設けている。

小上がり

事務室

正面玄関

開放型玄関
誰もが遠慮なく入りやすいように設けている。
こどもホスピでイベントを行う際には地域の方
だけでなく様々な人が立ち寄りやすい空間に
することを目指した。



B1階平面図

LDK・浴室・屋外空間
ホスピスを利用する誰もが利用できるLDKの空間と浴室等を計画した。

ウッドデッキ
壁面にプロジェクターで映写し、映画鑑賞会を開いたり、
家族とのんびり過ごすことのできる空間を目指した。

LDK空間
ご飯をみんなで食べたりリビングでくつろいだり、
ホスピスを利用する家族が過ごせる空間である。
LDKの空間と洗濯室や浴室を同じ階に置くことで動線も
考えた設計を目指した。

芝生広場
3階のLDK空間を出ると外は海の見える芝生の空間が広がっている。
小さな丘もあり、緑豊かでのびのびと過ごせれる広場を目指した。

廊下

2階平面図

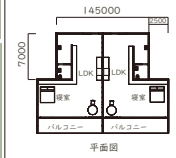
居室空間

B1階：緊急用居室
1階：家族居室
3階：中高生居室
個室

ホリスティックな空間

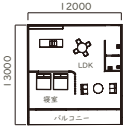
アースカラーを取り入れて
内観の建築デザインを
行う。

個室



平面図

家族居室　中高生居室



平面図

中高生のための生活空間・遊戯空間
中高生の利用者が遊ぶ場所として、娯楽室を3階に計画した。

階段

ゲーミングルーム
まるでゲームセンターに行っているような
雰囲気を楽しめる空間を目指した。

カラオケルーム

ドリンクバー

テラス

カフェコーナー
棚には漫画が並び、カウンター席から海が見える。
ゆったりと好きな時間を過ごせるカフェのような空間。

3階平面図

家族と過ごすための生活空間・遊戯空間
居室に繋がる1階の空間には命に関わる病気の子どもとその家族が自由に遊べる遊戯空間を計画した。

絵本コーナー
好きな絵本を自由に読んだり、時折読み聞かせができる
空間である。テレビもあるため好きなテレビ番組を
鑑賞することもできる。

半屋外遊戯空間
屋外の北側には半地下の遊戯空間を設けた。
東側にあるスロープを登れば外の広場へと繋がり、
西側にある階段を降りれば B1 の中庭へと繋がる。

吹き抜け

ボールプール

ボルダリングコーナー

吹き抜け

1階平面図